

健康経営の取り組み実績（2023年度）

※データの集計範囲は国内グループ会社

■ 施策と取り組み結果

中期健康管理施策（健康Action2025）：別紙 取り組み実績

● 健康保険組合との協働施策

がん検診受診率(定期健康診断と同時に実施しているがん検診)	2022	2023
胃がん	54.6%	53.3%
大腸がん	71.4%	71.3%
乳がん	58.9%	62.2%
子宮頸部がん	48.3%	51.1%

● 健康関連データ分析

その他の施策		2022	2023
遵法	定期健康診断受診率	100%	100%
	ストレスチェック受検率	98.4%	97.7%
	定期健康診断後のハイリスク者への保健指導実施率*1	99.5%	98.9%
	施策に対する従業員の満足度*1	84.1%	89.4%

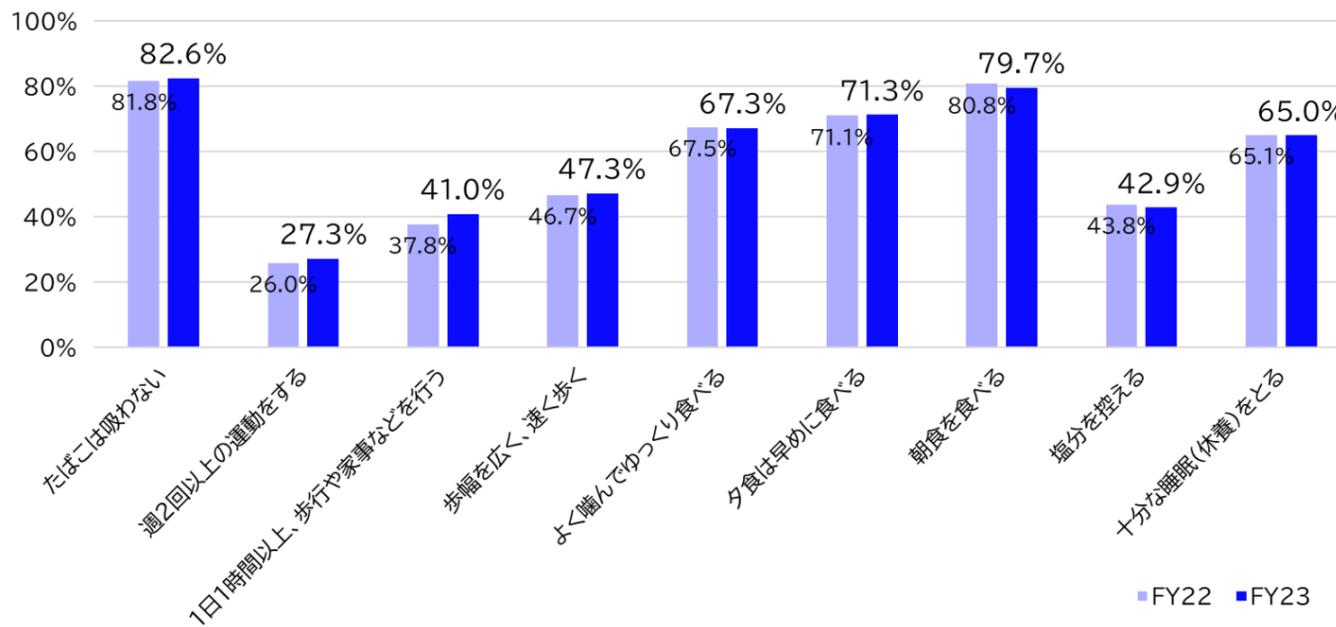
*1：データの集計範囲はセイコーエプソン単体

■ 取り組み効果実績

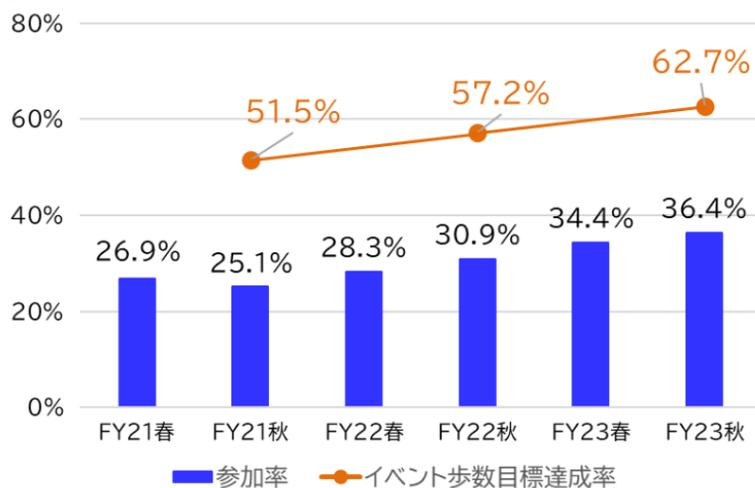
● 意識変容・行動変容に関する指標の取り組み効果

1. 健康的な生活習慣行動の増加

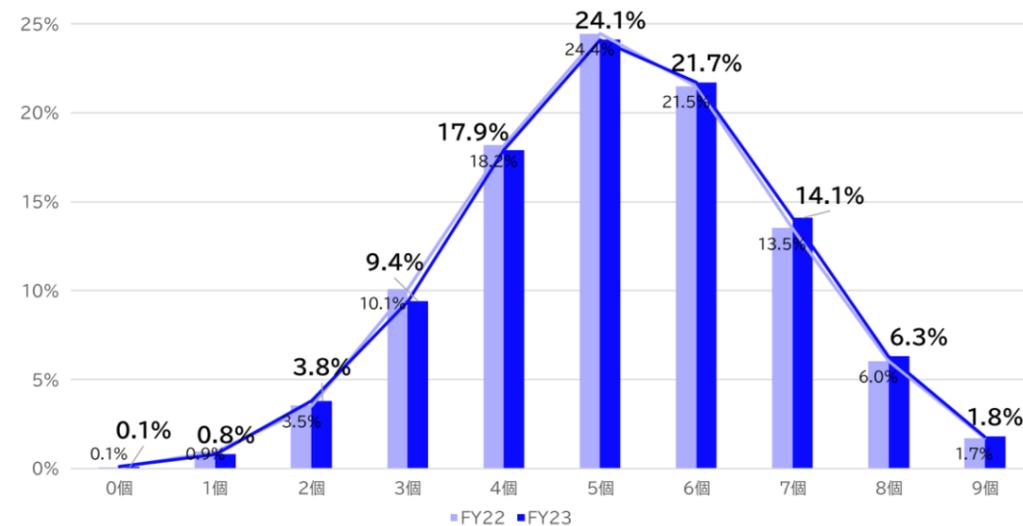
① 健康的な生活習慣9項目の割合



② 全社ウォーキングイベント参加率



③ 健康的な生活習慣項目数

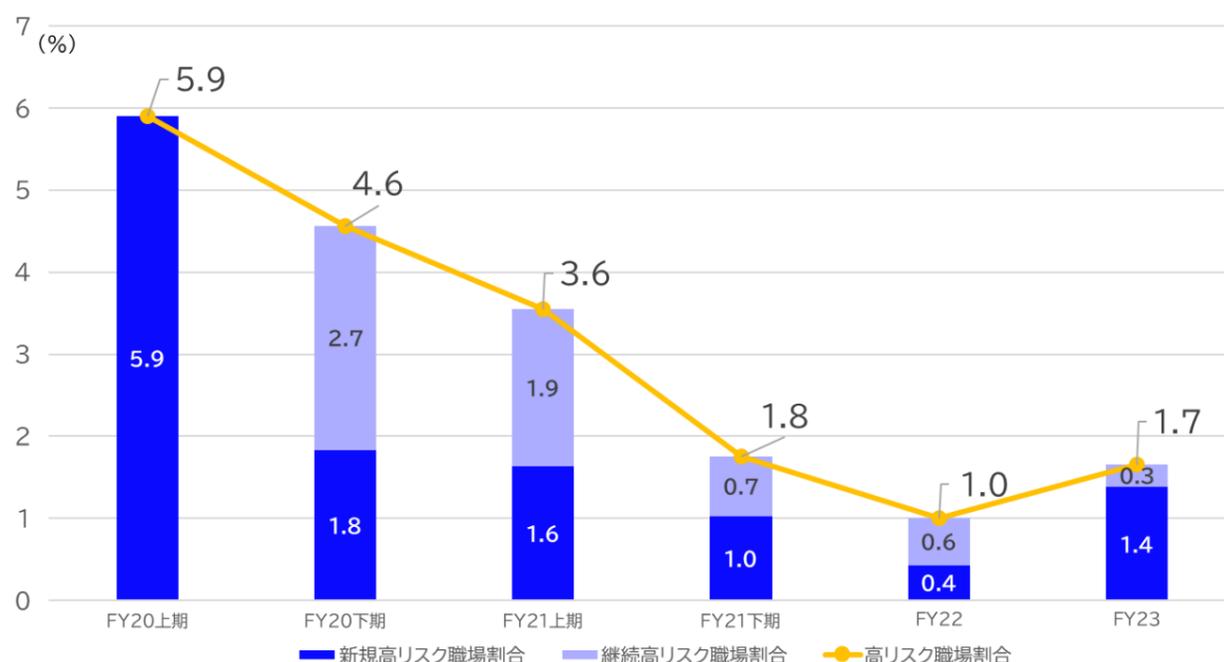


健康的な生活習慣行動のうち運動に関する3項目が低く、特に運動習慣のある人の割合が最も低い。そのため、2021年度より実施している全社ウォーキングイベントを個人もチームも楽しめ、参加意識が高まるよう、健康保険組合のアプリの活用方法の見直しや、チーム賞等のインセンティブの充実を図った。また、各事業所健康づくり活動との連携を強化した。ウォーキングイベントの参加率、イベントの目標歩数達成率ともに増加した。

その結果、運動習慣のある人の割合が増加し、健康的な生活習慣項目6項目以上の割合も増加に繋がった。

2.良好職場の増加

①高リスク職場割合 ※セイコーエプソン単体



メンタルヘルス不調に至る要因の1つに職場環境があげられる。高リスク職場は休務率が高いことから、高リスク職場ゼロを目標に掲げ、2020年度より本格的に職場環境改善活動を開始した。具体的には、高リスク職場は職場改善の計画を立案し、事業責任者の確認のもと改善活動を実施した。さらに、高リスク職場および支援を求めている職場に対し、担当部門が職場ヒアリング、ワークショップ、個別面談などの支援を実施した。(実施率100%)

2022年度までは高リスク職場の割合は減少したが、2023年度は高リスク職場1.7%と前年度比で増加した。高リスクが継続している職場は減少した一方、新たに高リスクとなった職場が増加した。継続職場に対する施策を継続しつつ、新たな高リスク職場が発生しないよう未然防止策を実施することが今後の課題である。

●健康関連の最終目標指標

※データの集計範囲はセイコーエプソン単体

	2022	2023
プレゼンティーズムの低減 *1	17.5%	17.3%
アブセンティーズムの低減 *2	1.59%	1.60%
ワークエンゲージメントの向上 *3	2.49Pt	2.50Pt
自主的離職率の減少	2.2%	1.2%

*1 測定方法：SPQ(東大1項目版) 回答の平均値を100から引いた値

*2 測定方法：1週間以上休務した脳・心疾患及びメンタル休務者割合

*3 測定方法：新職業性ストレス簡易調査票(短縮80項目版)

2023年度実績：測定人数12,031人 回答率97.4%

2023年度実績：測定人数12,750人 回答率100%

2023年度実績：測定人数12,031人 回答率97.4%